

特別企画：「食品主要 195 社」価格改定動向調査（4月18日時点）

食品値上げ 年内「2万品目」突破

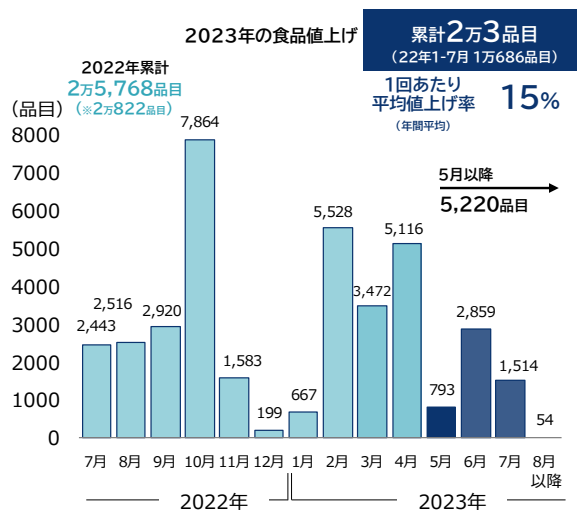
前年より3ヵ月早く到達

値上げペース落ちず、年内3万品目の可能性

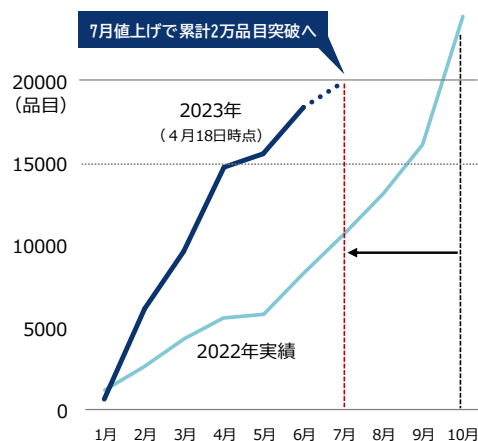
2023年の値上げが2万品目を超えた。2023年における家庭用を中心とした飲食料品の値上げ品目数は、4月18日までの判明ペースで累計2万3品目に上った。2万品目が判明したのは前年が7月だったのに対し、23年は4月と3ヵ月早く到達した。今年5月以降の値上げをみると、5月は793品目、6月は2859品目が既に予定されている。供給不足・価格高騰が続く鶏卵の影響が出ているほか、不作が続く海苔製品、削り節などのだし製品、カップ麺や冷凍食品など、多岐にわたる食品が値上げ予定となっている。

値上げペースは前年に引き続き高水準で推移しており、このペースが続いた場合、早ければ今年にも年内累計3万品目の値上げが判明する可能性がある。

2023年の食品値上げ（4月18日10時）
品目数/月別



実施ベースでの値上げ品目数動向



[注] 調査時点の食品上場105社のほか、全国展開を行う非上場食品90社を含めた主要195社の2022-23年価格改定計画。実施済みを含む。品目数は再値上げなど重複を含む

[注] 品目数および値上げは、各社発表に基づく。また、年内に複数回値上げを行った品目は、それぞれ別品目としてカウントした。値上げ率は発表時点における最大値を採用した。なお、価格据え置き・内容量減による「実質値上げ」も対象に含む

株式会社帝国データバンク 情報統括部長 藤井 俊

【問い合わせ先】 飯島 大介 03-5919-9343 (直通) daisuke.iijima@mail.tdb.co.jp

情報統括部: tdb_jyoho@mail.tdb.co.jp

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。